

1

ワークショップの構成とねらい

独立行政法人労働者健康福祉機構 医療事業部 勤労者医療課 研究班 主査 高嶋 結花

(1) ワークショップの構成

ワークショップ開催に至る経緯については、本冊子冒頭の清水信義岡山労災病院院長が述べているとおりであるが、ここでは、本ワークショップの全体構成とそのねらいについて説明したい。

ワークショップ名

: Training workshop on diagnosis and treatment of coal worker's pneumoconiosis and asbestos related diseases.

「炭鉱労働者のじん肺とアスベスト関連疾患の診断と治療のための実践ワークショップ」

開催日：平成 22 年 8 月 4 日～5 日

開催場所：モンゴル国

ウランバートル医科学大学 (Medical Science University) 講堂

日本からの出席者：4 名

清水 信義 独立行政法人労働者健康福祉機構
岡山労災病院院長

木村 清延 独立行政法人労働者健康福祉機構
北海道中央労災病院院長

岸本 卓巳 独立行政法人労働者健康福祉機構
岡山労災病院副院長

高嶋 結花 独立行政法人労働者健康福祉機構
医療事業部 勤労者医療課 研究
班主査

3. 木村院長による講演① (後掲 5. とともに、本章の 3-(1) に収録)

「Coal worker's pneumoconiosis ①」

4. 木村院長・岸本副院長による画像読影解説 (そのエッセンスを本章の 3-(2) に収録)

「Practical training for the diagnosis of chest X-ray and CT scanning for coal-miner pneumoconiosis (Japanese cases)」

5. 木村院長による講演②

「Coal worker's pneumoconiosis ②」

6. 木村院長・岸本副院長による画像読影解説

「Practical training for the diagnosis of chest X-ray and CT scanning for coal-miner pneumoconiosis (Mongolian cases)」

第 2 日 (8 月 5 日) の内容

1. Dr. Oyuntogos (Project Officer on Primary Health Care, Water and Hygiene Sanitation, WHO) による、モンゴル語による同国内参加者向け講演
「Baseline study of asbestos exposure assessment on social policy」

2. 岸本副院長による講演 (本章 4-(1) に収録)

「Asbestos-related disease」

3. 清水院長による講演 (本章 4-(2) に収録)

「Treatment of malignant pleural mesothelioma」

4. 岸本副院長による画像読影解説 (本章 4-(3) に収録)

「中皮腫の症例の供覧とトレーニング (12 症例)」

5. Dr. Delgermaa による、モンゴル語による同国内参加者向け講演 (本講演内容も含め、本章 -2 に新規寄稿)

「Asbestos use and its burden in the world」

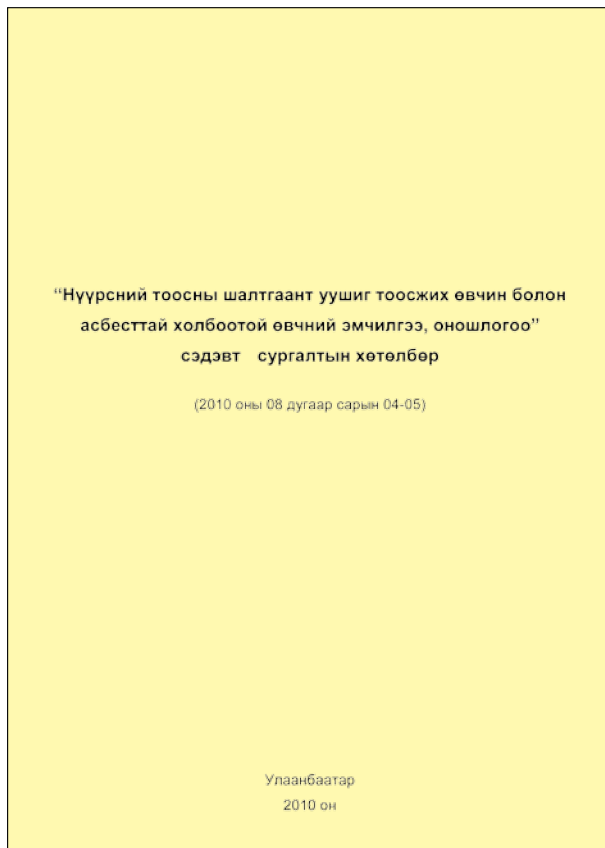
第 1 日 (8 月 4 日) の内容

1. 開会挨拶等

モンゴル国健康省 Senior Officer Davaadorj 氏、清水院長、高嶋主査

2. Ts. Batnasan (Advisor Social Policy, Education and Science) による講演

「Occupational health profile of Mongolia」



モンゴル国で印刷、配布されたパンフレット（上が表紙、下が中面）。

2010 оны 08 сарын 04
Хаана: Эрдмийн өргөө №220, ЭМШУИС

09.00-09.30	Бүртгэл
Чиглүүлэгч: ЭМЯ-ны НЭМХ	
09.30-10.00	Хурлын нээлт - С.Төгсдэлгэр, ЭМЯ-ны НЭМХЗГ-ын дарга - ДЭМБ - Доктор Nobuyoshi Shimizu, Okayama Rosai Эмнэлгийн дарга
10.00-10.10	Монголын хөдөлмөрийн эрүүл мэндийн төлөв байдал - ЭМЯ
10.10-10.20	ДЭМБ-аас хөдөлмөрийн эрүүл мэндийг бэхжүүлэх талаар явуулж буй үйл ажиллагаа - Ш. Энхцэцэг, ДЭМБ
10.20-10.40	Асуулт, хариулт
10.40-11.10	Лекц: Нүүрсний тоосны шалтгаант уушиг тоосжих өвчин - Доктор Kiyonobu Kimura
11.10-11.30	Цайны завсарлага
11.30-13.00	Дадлага ажил: Нүүрсний тоосны шалтгаант уушиг тоосжих өвчний оношилгоо, цэвэрийн рентген, компьютерны томограф унших (Японы тохиолдол) - Доктор Kiyonobu Kimura, Takumi Kishimoto
13.00-14.00	Үдийн хоол
Чиглүүлэгч: Л. Оюунтөгс, ДЭМБ	
14.00-15.00	Лекц: Нүүрсний тоосны шалтгаант уушиг тоосжих өвчин - Доктор Kiyonobu Kimura
15.00 – 15.40	Дадлага ажил: Нүүрсний тоосны шалтгаант уушиг тоосжих өвчний оношилгоо, цэвэрийн рентген, компьютерны томограф унших (Монголын тохиолдол) - Доктор Kiyonobu Kimura, Takumi Kishimoto
15.40-16.00	Цайны завсарлага
16.00-16.30	Дадлага ажил: Нүүрсний тоосны шалтгаант уушиг тоосжих өвчний оношилгоо, цэвэрийн рентген, компьютер томограф унших (Эргэлзээтэй тохиолдлууд) - Доктор Kiyonobu Kimura, Takumi Kishimoto
16.30-17.00	Асуулт, хариулт
17.00-17.20	Дүгнэлт

2010 оны 08 сарын 05
Хаана: Эрдмийн өргөө №220, ЭМШУИС

Чиглүүлэгч: Ц.Балжасан, Нийгмийн бодлогын байнгын хорооны зөвлөх	
9.30-9.40	Монгол дахь асбестийн нөлөөллийн үнэлгээний суурь судалгаа Л. Оюунтөгс, ДЭМБ
9.40-11.00	Лекц: Асбесттай холбоотой өвчин - Доктор Takumi Kishimoto
11.00-11.30	Цайны завсарлага
11.30 – 12.00	Гялтан хальсны хавдрын (C45) мэс заслын эмчилгээ - Доктор, Nobuyoshi Shimizu
12.00 -13.00	Дадлага ажил: Асбесттай холбоотой өвчний оношилгоо, цэвэрийн рентген, компьютерны томограф унших (цэвэрийн гялтан хальс ба асбесттай холбоотой уушгийн хавдар) - Доктор Takumi Kishimoto, Kiyonobu Kimura
13.00-14.00	Үдийн хоол
Чиглүүлэгч: Ш. Энхцэцэг, ДЭМБ	
14.00-14.30	Дадлага ажил: Асбесттай холбоотой өвчний оношилгоо, цэвэрийн рентген, компьютер томограф унших (Гялтан хальсны хавдар, C45) - Доктор Takumi Kishimoto, Kiyonobu Kimura
14.30-14.50	Асбестийн далайч нилгийн хэрэглээ Доктор В. Далгормаа, Японы Хөдөлмөрийн болон Орны Эрүүл Мэндийн Их Сургууль
14.50-15.20	Асуулт, хариулт
15.20-15.40	Цаашдын хамтын ажиллагааны талаарх хөдөлгөөл
15.40-15.50	Хаалт

Зочин профессоруудын нэр:

- **Nobuyoshi Shimizu** (MD., Ph.D), Director of Okayama Rosai Hospital, Professor of Emeritus for Okayama University of School of Medicine, Japan
- **Takumi Kishimoto** (MD., Ph.D), Vice-director, Okayama Rosai Hospital, Japan
- **Kiyonobu Kimura** (MD., Ph.D), Director of Hokkaido Chuoh Rosai Hospital, Japan
- **Yuka Takashima**, Assistant Chief of the medical treatment for labourers Japan Labor Health Welfare Organization
- **Vanya Delgermaa** (MD., Ph.D), Research Associate, Department of Environmental Epidemiology, University of Occupational and Environmental Health, Japan

(2) ワークショップのねらい

モンゴル国（以下、モンゴル）においては、近年めざましく産業が発展しており、豊富な天然資源の開発などにより鉱業が拡大するとともに、工場や住宅の建設も盛んである。その一方で、発展・拡大に伴う粉じんなどによる呼吸器疾患、金属などの産業中毒、需要の増大するアスベストへの直接ばく露、振動病など、既にわが国が経験してきた多くの職業病について、現状が十分に把握されていない状況にあるとのことである。

とくに、同国では現在も大量のアスベストが日常的に使用されており、その対応・対策は今後の重要な課題であり、早急に被害防止対策を進めることにより、このままでは将来的に発生すると考えられる少なからぬ被害を、未然に防ぐ、あるいは最少化することが可能であると考えられる。

そこで当機構では、同国が、わが国が経験してきた悲惨な体験を追うことが無いよう、また、公衆衛生向上や職業病の予防・救済に役立てていただけるよう、今回のワークショップの内容を組み立てた。

当機構が取り組んでいるじん肺やアスベスト関連疾患等に係る「労災疾病等 13 分野医学研究・開発、普及事業」などの、これまでに蓄積してきた豊富な医学的知識や技術等豊富な知見を、同国の医師をはじめ健康保持・増進に携わる方たちに対し、直接お伝えし、知識を広めていくことが、ささやかながら当機構の医療・医学を通じた国際貢献になるのではないかと考えた。

今回のワークショップでは、同国の医師をはじめとする関係者に対し、わが国の第一人者であり国際的にもよく知られた医師陣が、じん肺やアスベスト関連疾患に関する基礎知識を解説し、その上で、日本から持参した実際の胸部 X 線写真と CT 画像を読むという実践的な演習も実施することにした。また併せて、同国側で用意した胸部 X 線写真についての読影も実施することにした。

これは参加者が実際の症例に直に触れる機会を持ち、また事例ごとに整理された国際的な基準などを理解していただくために、「より実践的なもの

を」という意図からである。

本ワークショップを、被害の未然防止及び診断・治療等のスキルの向上を図るための、同国専門職の「啓発」の場とし、かつ継続的な交流の第一歩としたいと考えた。

実際には 2 日間をとおり、モンゴルの放射線科医師、病理医、内科医、工場の医師など 40 名あまりに対して、じん肺、アスベスト関連疾患に係る講演と胸部 X 線写真、CT 画像の読影という実践的なトレーニングをフェイス・トゥ・フェイスで丁寧を実施することができた。

具体的には、木村北海道中央労災病院院長が、炭鉱夫じん肺の診断や関連疾患の基礎知識を講演するとともに、持参した実際の胸部 X 線写真と CT 画像を供覧し、参加者の診断技術向上のための演習を行った。また、岸本岡山労災病院副院長が、アスベスト関連疾患についての基礎知識を講演するとともに、持参した胸部 X 線写真と CT 画像を用い、アスベスト疾患の診断についての演習を行った。

さらに、清水岡山労災病院院長が、胸膜中皮腫の治療について、手術療法を中心に講演を行った。その他、モンゴルの胸部 X 線写真の提供や同国医師によるモンゴルにおける職業病や世界のアスベスト使用状況についての講演も行われた。

本ワークショップでは、基本知識の習得をはじめ、実際のフィルム等を使用した実践的な読影を実施したことにより、同国の参加者にとって刺激的で有益であったと思われた。ほとんどの参加者が自由に意見を述べ、質疑応答も活発に行われた場となった。またモンゴル側からは、じん肺（石綿肺）の ILO 分類などの基礎的な知識についてのレクチャーの要望もあり、今後もこのワークショップを毎年継続してほしいとの強い要望を受けた。

2 日間をとおして、非常に活発な意見交換を行うことができた。

なお、講義等の詳細については次節以降を参照されたい。